

2025年度(2026年3月期) 第2四半期 決算説明資料

2025年11月
阪和興業株式会社

1. 2025年度第2四半期決算概要および進捗状況
2. 中期経営計画2025の進捗状況
3. セグメント別の詳細

1. 2025年度第2四半期決算概要および進捗状況

- 2025年度上期の経常利益は238億円、通期見通し550億円に対する進捗率は43%
- 通期見通しについては据え置き

(億円)

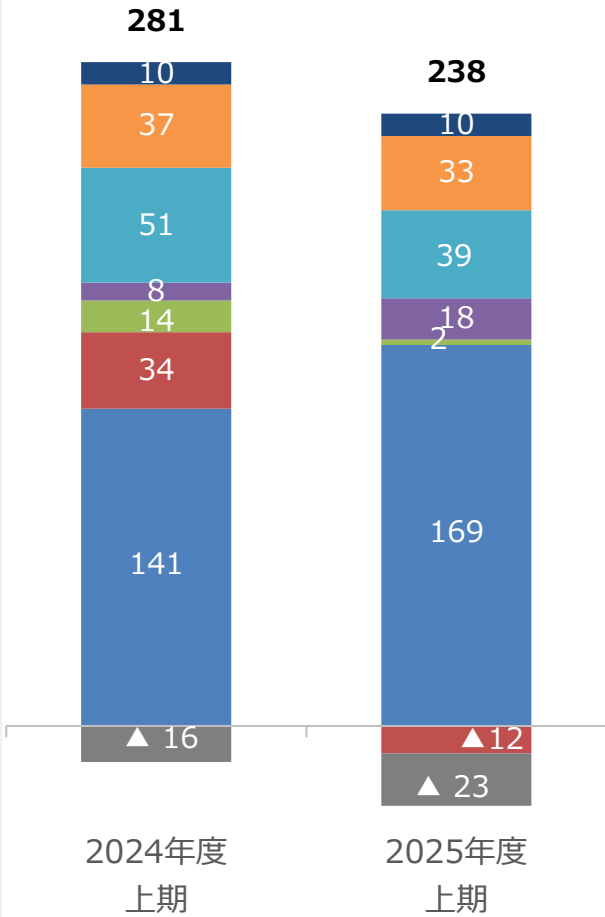
	2024年度 上期実績	2025年度 上期実績	増減 (増減率)	2025年度 通期見通し	進捗率
売上高	12,586	12,791	+204 (+2%)	26,000	49%
売上総利益	659	675	+15 (+2%)	—	—
営業利益	288	277	▲11 (▲4%)	550	50%
経常利益	281	238	▲42 (▲15%)	550	43%
当期純利益 ※ 1	202	167	▲34 (▲17%)	400	42%
鉄鋼取扱重量 ※ 2	644万t	707万t	+64万t (+9.9%)	—	—

※1 本資料上の「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します
※2 鉄鋼取扱重量は、当社および連結子会社における鉄鋼取扱重量の単純合算です

事業セグメント別経常利益

(億円)

セグメント損益
(経常利益)



セグメント	2024年度 上期実績	2025年度 上期実績	前年同期比 (増減率)
鉄鋼	141	169	+27 (+20%)
プライマリー メタル	34	▲12	▲46 (-)
リサイクル メタル	14	2	▲12 (▲83%)
食品	8	18	+10 (+128%)
エネルギー・ 生活資材	51	39	▲11 (▲23%)
海外販売子会社	37	33	▲3 (▲10%)
その他	10	10	▲0 (▲2%)
調整	▲16	▲23	▲6 (-)
合計	281	238	▲42 (▲15%)

主な増減要因
建設資材の販売や国内建設分野が堅調に推移したこと、一部海外子会社で採算が改善したことで増益
SAMANCOR社の持分法投資損益がマイナスとなったことで減益
アルミや銅の採算が悪化した影響などで減益
米国子会社で外食産業向け販売が好調に推移したことや、新規連結子会社の業績寄与などで増益
ウッドペレットやPKSの販売は堅調に推移した一方、前年同期は期末の一過性によるデリバティブ評価益の影響が大きく減益
主に鉄鋼製品の採算が悪化したことなどで減益
住宅資材：主に欧州材市況が低調に推移したことで減益 機械：産業機械分野での完工物件が増加したことなどで増益

事業セグメント別経常利益の進捗状況

(億円)

セグメント	2025年度業績予想			上期実績	通期進捗率	進捗状況
	上期	下期	通期			
鉄鋼	135	155	290	169	58%	鋼材需要が低調な中で鋼板類を中心に取扱数量が減少したものの、国内建設分野が堅調に推移したことに加え、一部海外子会社で採算が改善したことにより上振れ
プライマリー メタル	20	15	35	▲12	－	SAMANCOR社からの持分法投資損益が大幅に下振れ
リサイクル メタル	15	20	35	2	7%	アルミや銅の事業環境が激変したことにより採算が大幅に悪化したことに加え、価格上昇により一過性のデリバティブ評価損が発生し下振れ
食品	10	20	30	18	62%	新規連結子会社の利益貢献や、国内外の一部子会社の好業績を背景に上振れ
エネルギー・ 生活資材	60	60	120	39	33%	石油製品や化学品等の各種取扱商材の事業環境の急変で想定よりも利幅の取りづらい環境が継続したことで下振れ
海外販売子会社	35	40	75	33	45%	ASEANの鉄鋼市況の低迷は継続しているものの、リサイクルメタル事業が堅調だったことにより概ね予想通り
その他	10	15	25	10	42%	機械事業において完工物件が増加した一方で、住宅資材事業において木材市況が軟調に推移したことより下振れ
調整	▲25	▲35	▲60	▲23	－	
合計	260	290	550	238	43%	

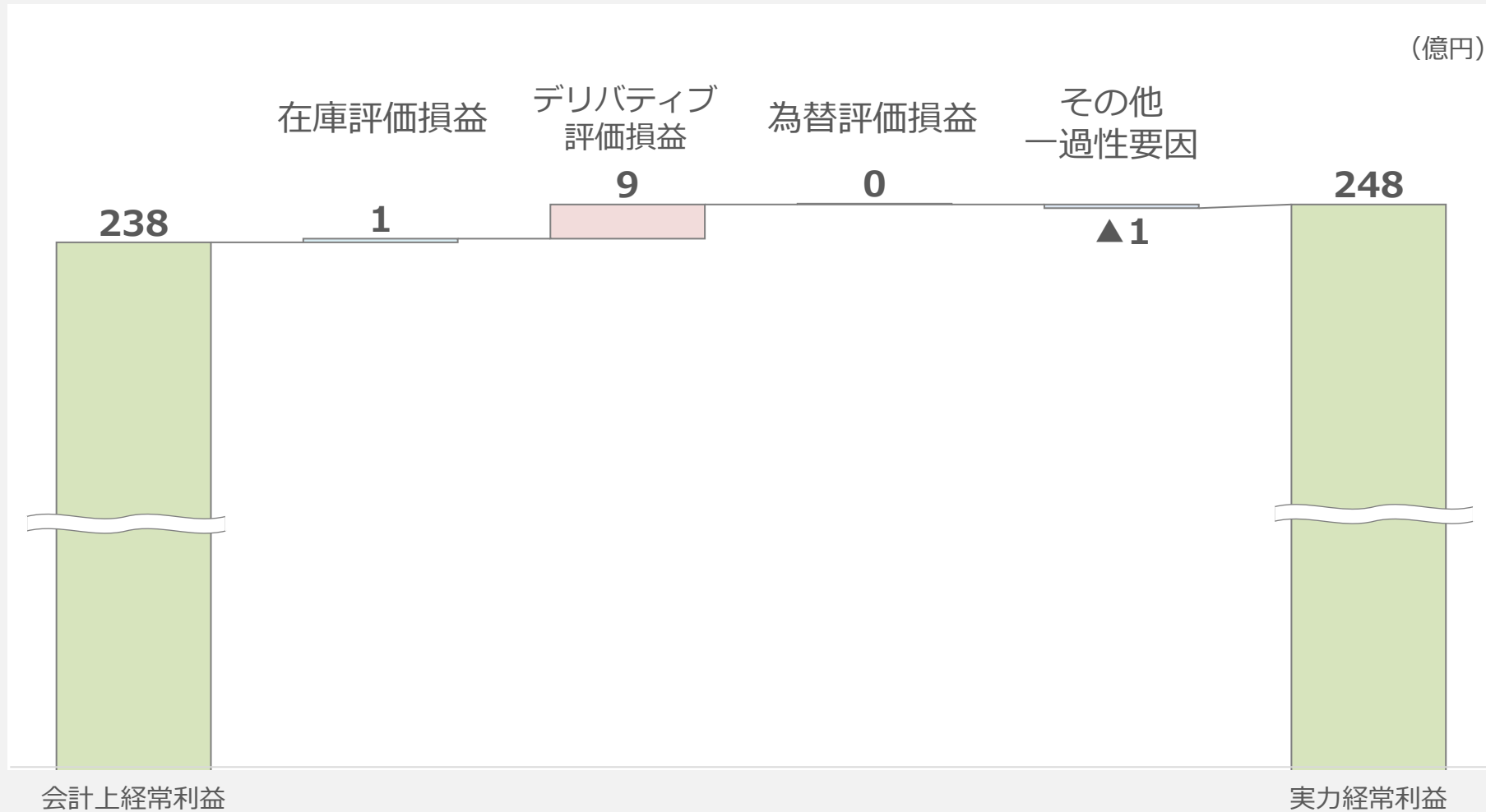
事業セグメント別経常利益（四半期推移）

(億円)

セグメント	2024年度					2025年度					上期 前年度比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期実績	1Q	2Q	3Q	4Q	上期累計	
鉄鋼	77	64	94	94	331	97	71	－	－	169	+27
プライマリー メタル	11	22	▲4	30	60	▲5	▲6	－	－	▲12	▲46
リサイクル メタル	7	7	14	1	30	▲0	3	－	－	2	▲12
食品	3	4	14	0	23	9	8	－	－	18	+10
エネルギー・ 生活資材	14	36	24	27	104	24	14	－	－	39	▲11
海外販売子会社	16	20	25	20	82	18	15	－	－	33	▲3
その他	9	1	4	8	24	6	4	－	－	10	▲0
調整	▲18	1	▲23	▲19	▲59	▲10	▲13	－	－	▲23	▲6
合計	123	157	150	165	597	140	98	－	－	238	▲42

期末時価評価・一過性損益の影響

- 25年度上期の会計上の経常利益238億円に対し、**実力経常利益は248億円**



(億円)

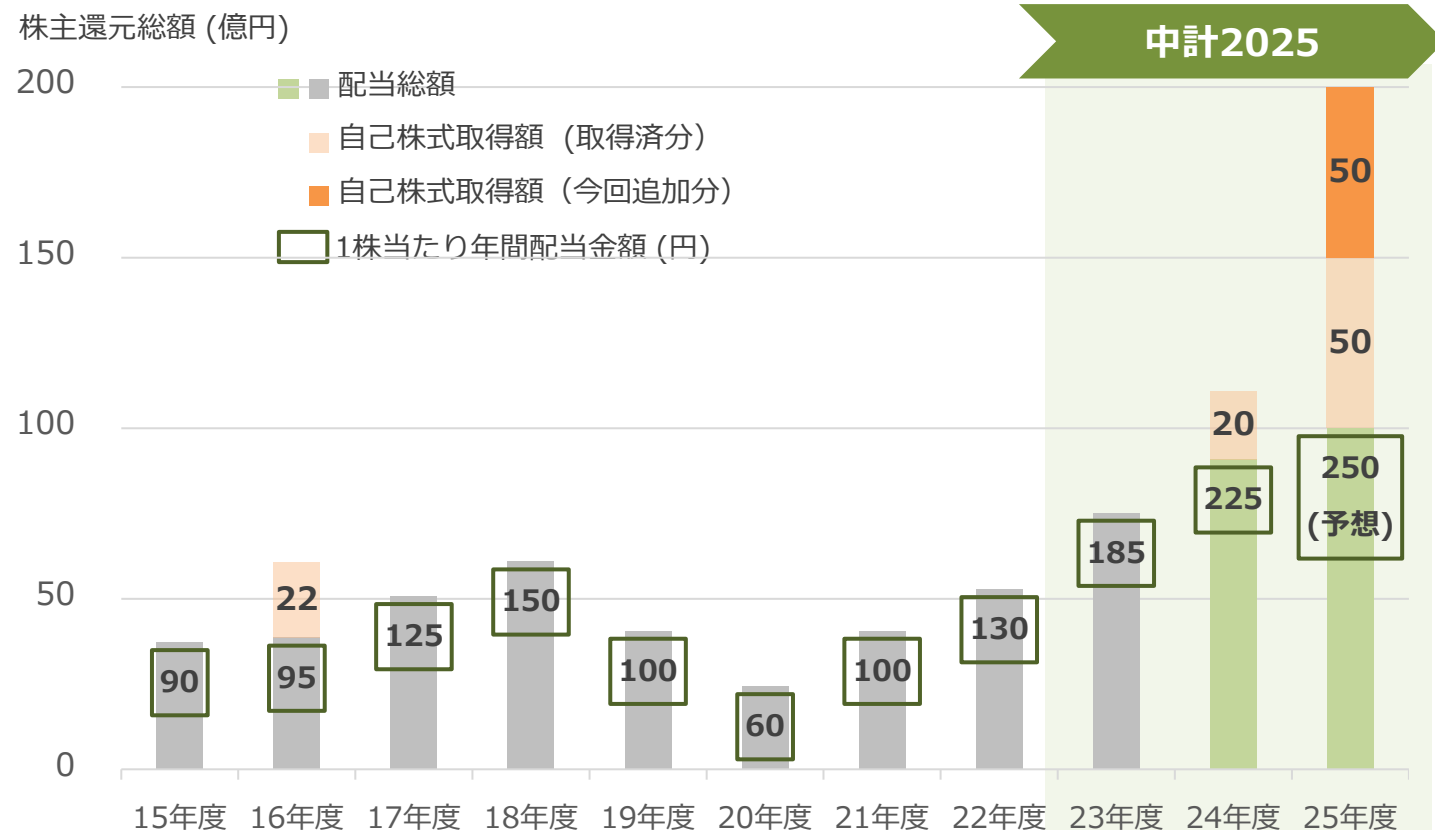
		2025年3月末	2025年9月末	増減 (増減率)	主な増減内容
総	資 産	11,658	11,287	▲370 (▲3%)	棚卸資産や売上債権の減少などにより減少 自己株式の取得があったものの、親会社株式に帰属する四半期純利益からの積み上げなどにより株主資本は増加
株	主 資 本	3,396	3,481	+85 (+3%)	
自	己 資 本	3,830	3,907	+77 (+2%)	
自 己 資 本 比 率		32.9%	34.6%	+1.7pt	
	(ハイブリッドローン考慮後)	(35.0%)	(36.8%)		
有	利 子 負 債	3,823	3,616	▲206 (▲5%)	運転資金需要の低下により、有利子負債は減少
純 有 利 子 負 債		3,170	2,836	▲334 (▲11%)	
N e t D E R		0.8倍	0.7倍	▲0.1倍	
	(ハイブリッドローン考慮後)	(0.7倍)	(0.6倍)		

2. 中期経営計画2025の進捗状況

株主還元および株式分割

- 新たに50億円を上限とした自己株式取得を決定。（11月7日公表）
※5月9日に発表している自己株式取得50億円については10月に取得完了済み。
- 配当については、期初予想通り、中間配当125円/株を決定。
- 分割比率1対5（効力発生日：2026年4月1日）で**株式分割を決定（11月7日公表）**

株主還元総額



※株主資本配当率(DOE) = 配当総額 ÷ 期首株主資本

株式分割

株式分割を行い、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることが目的

■ 分割の日程

基準日 : 2026年3月31日

効力発生日 : 2026年4月1日

■ 分割比率

普通株式1株につき、
5株の割合をもって分割

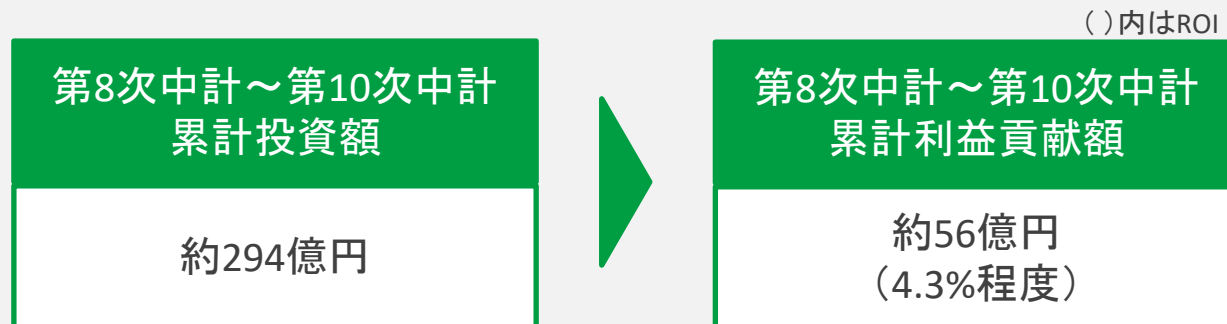
- 25年度上期では10銘柄3.5億円の売却を実施
- さらなる縮減を達成するべく、継続して売却し、資本効率の改善や資産の入替を進める

	25年3月末時点	25年9月末時点
保有残高の 連結純資産比率	15.6%	15.9%
売却実績 (年度累計)	46.2億円	3.5億円
保有銘柄数	117銘柄 上場 53銘柄/非上場 64銘柄	110銘柄 上場 51銘柄/非上場 59銘柄 (▲7銘柄)
2025年度上期 売却実績サマリ	全株売却	8銘柄 2.7億円
	一部売却	2銘柄 0.8億円
	合計	10銘柄 3.5億円
	売却決議済み (未売却および売却中)	1銘柄 13.2億円相当

※ 25年度1Qに非上場株式1銘柄を取得しております。

セグメント	投融資額 2025年度上期	中計2025期間中の 主な投融資案件	中計2025期間累計 (投融資枠800億円)
鉄鋼	50 億円	海外コイルセンター子会社における工場新設 兼松トレーディング株式会社の株式取得 他	200 億円
プライマリーメタル	-	PMB TECHNOLOGY BERHADへの出資 他	23 億円
リサイクルメタル	3 億円	国内連結子会社の能力増強 他	17 億円
食品	4 億円	株式会社マルゴ福山水産のグループ会社化 他	21 億円
エネルギー・生活資材	0 億円	国内連結子会社の能力増強 他	22 億円
海外販売子会社	23 億円	インドネシアにおける大和工業グループとの共同出資 GREEN ESTEEL PTE. LTD.への出資 他	160 億円
その他	3 億円	シンクス株式会社の株式譲受け 他	57 億円
全社	14 億円	新基幹システム構築/増強、新規土地取得 他	75 億円
合計	100 億円		合計 578 億円
環境配慮資源ビジネス 二次電池関連ビジネス 高付加価値加工ビジネス 地産地消ビジネス（海外） 国内既存ビジネス			進捗率 72.4 %

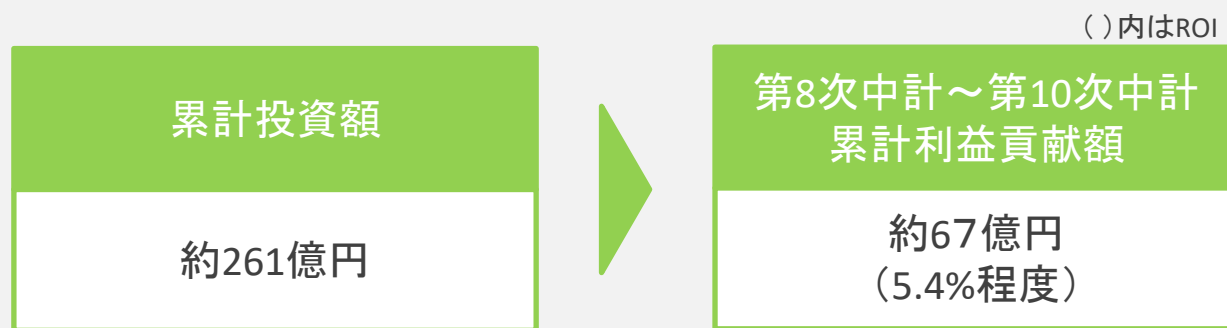
「そこか（即納・小口・加工）」戦略および海外展開投資からの利益貢献



- 累計投資額および累計利益貢献額の集計対象期間は以下の通りです。
 - ✓ 第8次中計期間 : 2016年度～2019年度
 - ✓ 第9次中計期間 : 2020年度～2022年度
 - ✓ 第10次中計期間 : 2023年度～2025年度(※第10次中計は2023年度および2024年度の2年度分の実績)

戦略的投資*からの利益貢献

(*戦略的投資：主として資源投資および海外鉄鋼メーカー等への出資)



- 2019年度に減損処理を実施したSamancorに係るものは、累計投資額および累計利益貢献額から控除しております。
- 累計利益貢献額の集計対象期間は以下の通りです。
 - ✓ 第8次中計期間 : 2016年度～2019年度
 - ✓ 第9次中計期間 : 2020年度～2022年度
 - ✓ 第10次中計期間 : 2023年度～2025年度(※第10次中計は2023年度および2024年度の2年度分の実績)

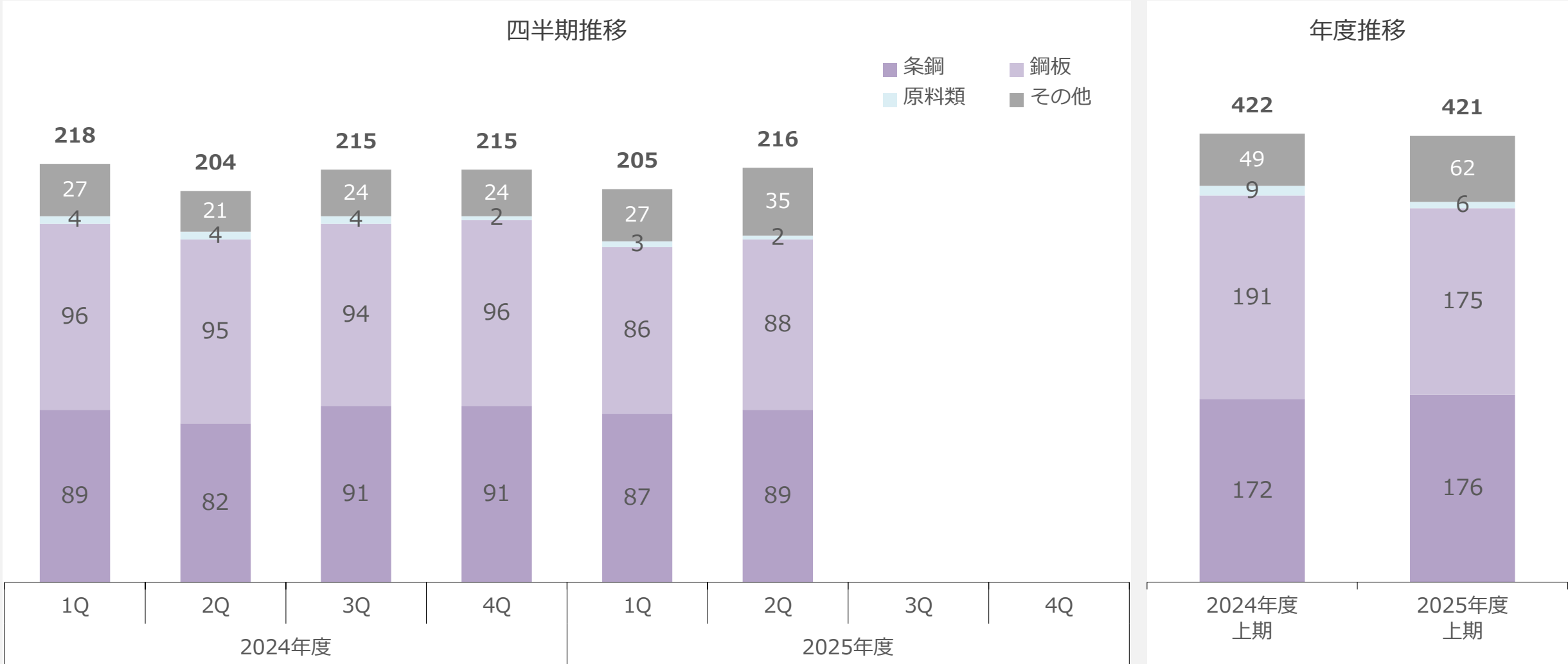
3. セグメント別の詳細

- 各種鋼材の取扱数量の減少や価格の下落などが収益を押し下げ
- 建設資材の販売や国内建設分野が堅調に推移したこと、一部海外子会社で採算が改善したことが利益を押し上げ

2024年度							2025年度					増減	
(億円)		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	(率)	
売	上	高	2,939	2,900	2,893	2,818	11,552	2,700	2,706	－	－	5,406	▲433 (▲7%)
経	常	利	77	64	94	94	331	97	71	－	－	169	+27 (+20%)
	単	体	71	62	78	77	290	85	66	－	－	152	+18 (+14%)
	国	内	9	10	11	7	38	7	9	－	－	17	▲2 (▲12%)
	海	外	3	▲4	6	11	16	8	8	－	－	17	+18 (－)
	持	分	3	▲0	▲1	▲0	0	5	▲7	－	－	▲2	▲4 (－)
	調	整	▲10	▲3	▲0	▲1	▲14	▲9	▲5	－	－	▲15	▲1 (－)

取扱量推移（連結※）

(万t)



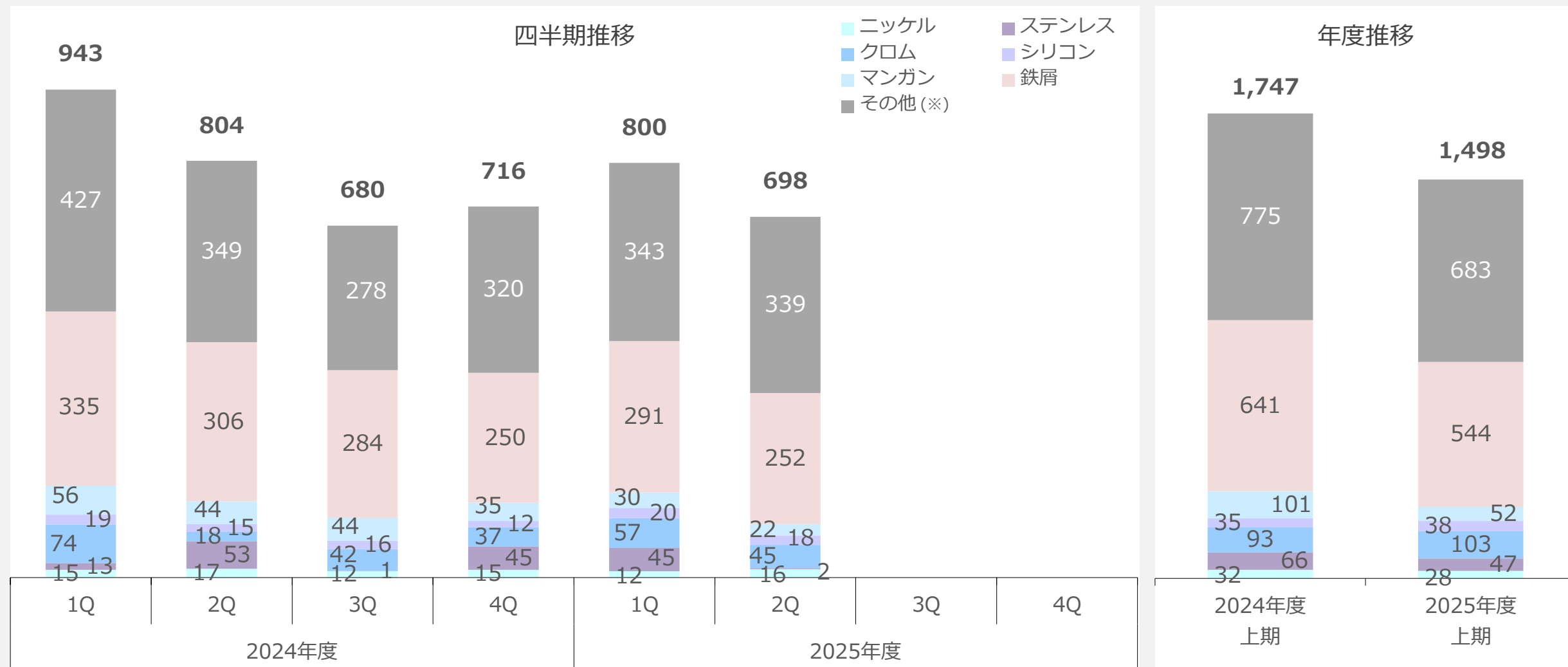
※ 鉄鋼事業セグメントに属する当社単体事業、国内鉄鋼関連子会社、海外コイルセンター子会社等の鉄鋼取扱量の単純合算
全ての事業セグメントでの鉄鋼総取扱重量はP.3を参照

- 一部副資材の販売が堅調に推移したことなどが収益を押し上げ
- SAMANCOR社からの持分法による投資損益がマイナスに転じたことが利益を押し下げ

2024年度						2025年度					増減 (率)
(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	458	538	430	414	1,842	551	539	－	－	1,090	+93 (+9%)
経常利益	11	22	▲4	30	60	▲5	▲6	－	－	▲12	▲46 (－)
単体	8	16	12	5	43	12	2	－	－	14	▲11 (▲43%)
国内連結子会社	▲0	▲0	0	▲0	▲0	▲0	▲0	－	－	▲0	▲0 (－)
海外連結子会社	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－ (－)
持分法投資損益	2	5	▲16	25	17	▲18	▲8	－	－	▲27	▲35 (－)
調整	▲0	▲0	－	0	▲0	▲0	－	－	－	▲0	+0 (－)

取扱量推移 (当社単体)

(千t)



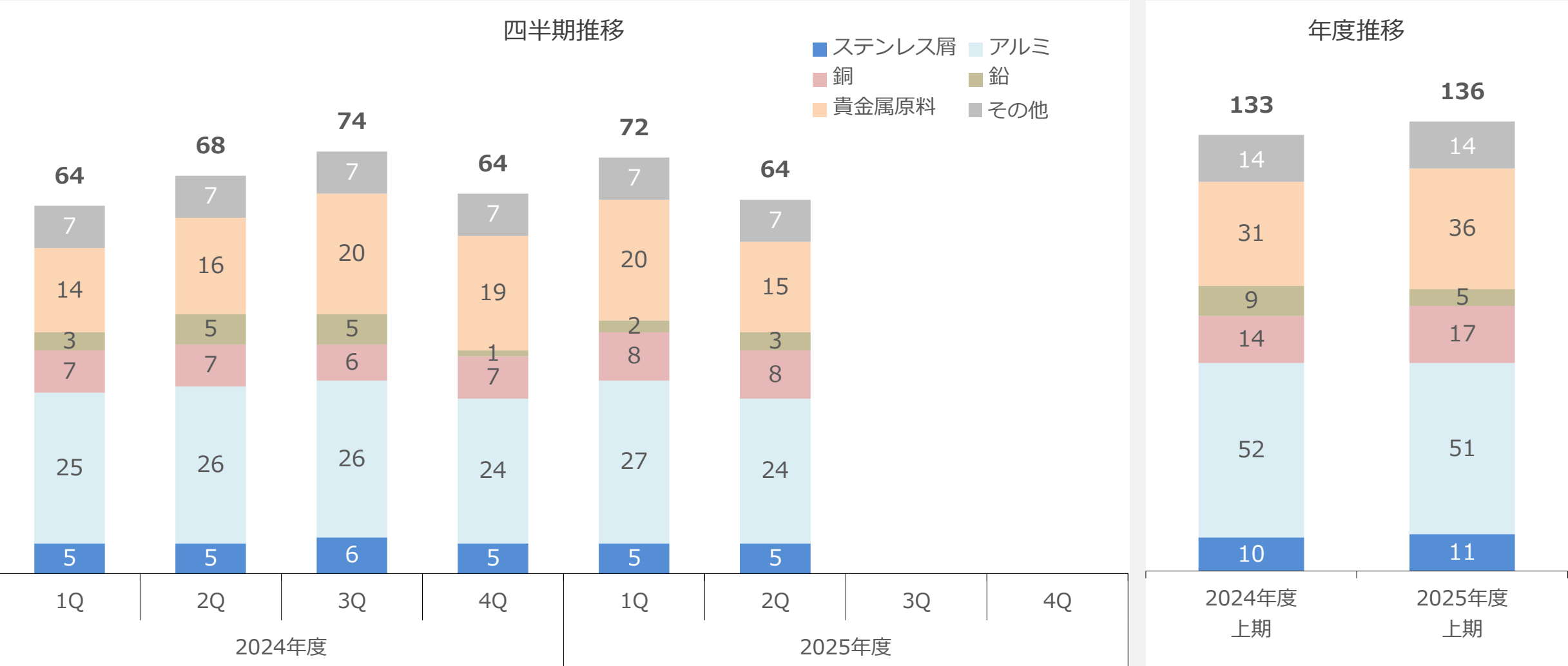
※「その他」には、硫黄、硫酸、石炭などの副資材（副原料）に関わるスポット商売の取扱量を含む。

- 貴金属原料の取扱数量が増加したことなどが収益を押し上げ
- アルミや銅の採算が悪化した影響などで減益

2024年度						2025年度					増減
(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	(率)
売上高	540	550	694	482	2,268	640	633	－	－	1,274	+182 (+17%)
経常利益	7	7	14	1	30	▲0	3	－	－	2	▲12 (▲83%)
単体	5	6	13	0	25	▲2	2	－	－	0	▲11 (▲94%)
国内連結子会社	2	▲0	0	1	5	1	0	－	－	1	▲1 (▲44%)
海外連結子会社	▲0	▲0	0	▲0	▲1	▲0	▲0	－	－	▲0	+0 (－)
持分法投資損益	0	0	0	0	0	0	0	－	－	0	+0 (+52%)
調整	▲0	0	▲0	0	0	▲0	0	－	－	0	▲0 (▲ 53%)

取扱量推移 (当社単体)

(千t)



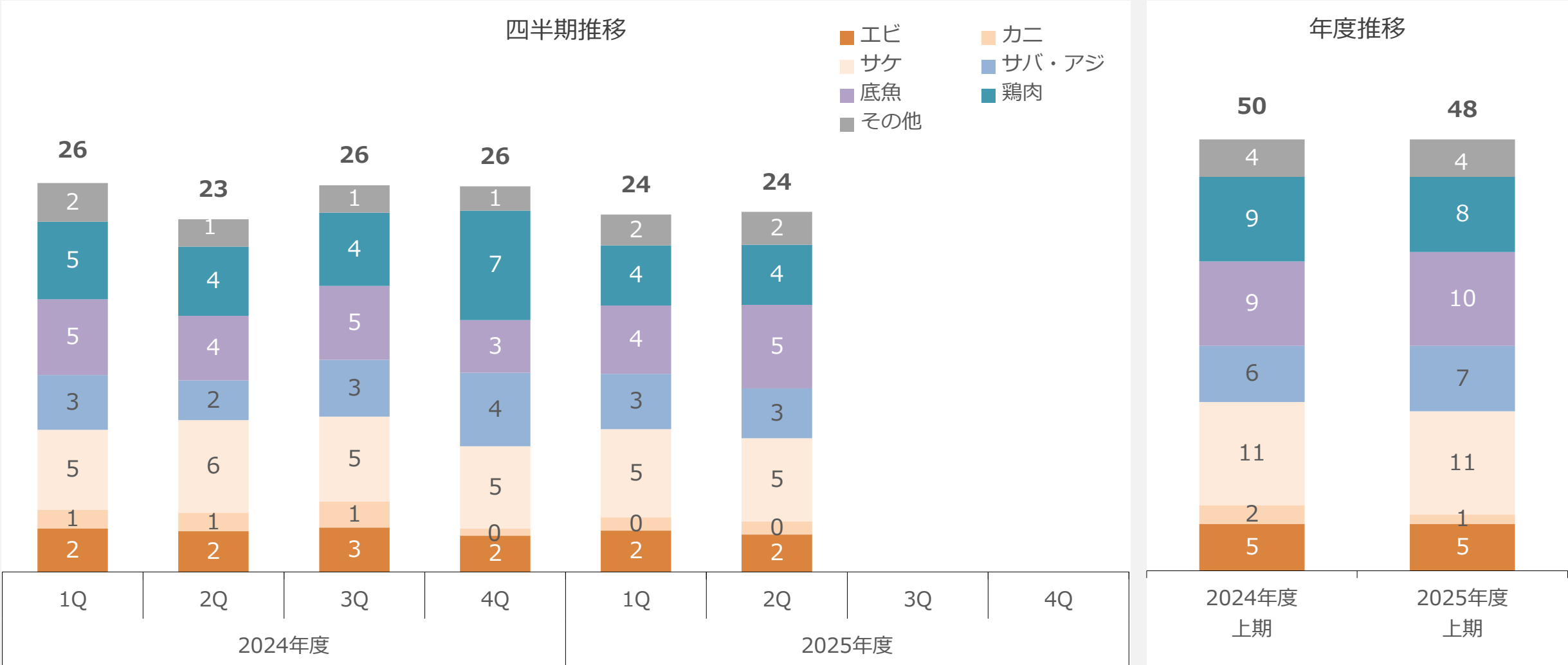
※今年度から取扱量の一部を組み替えております。「貴金属屑」を「貴金属原料」に変更し、従来の「貴金属屑」および「その他」と「銅」に含まれていた貴金属の原料類を集計しております。

■ 米国子会社で外食産業向け販売が好調に推移したことや、新規連結子会社の業績などが収益・利益を押し上げ

2024年度						2025年度					増減 (率)
(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	293	365	421	324	1,404	356	359	－	－	715	+56 (+9%)
経常利益	3	4	14	0	23	9	8	－	－	18	+10 (+128%)
単体	5	1	10	1	18	1	3	－	－	5	▲1 (▲20%)
国内連結子会社	0	0	3	▲0	3	5	4	－	－	10	+9 (+912%)
海外連結子会社	0	1	▲0	1	3	2	1	－	－	4	+2 (+112%)
持分法投資損益	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－ (－)
調整	▲2	1	0	▲1	▲2	▲0	▲0	－	－	▲1	+0 (－)

取扱量推移 (当社単体)

(千t)

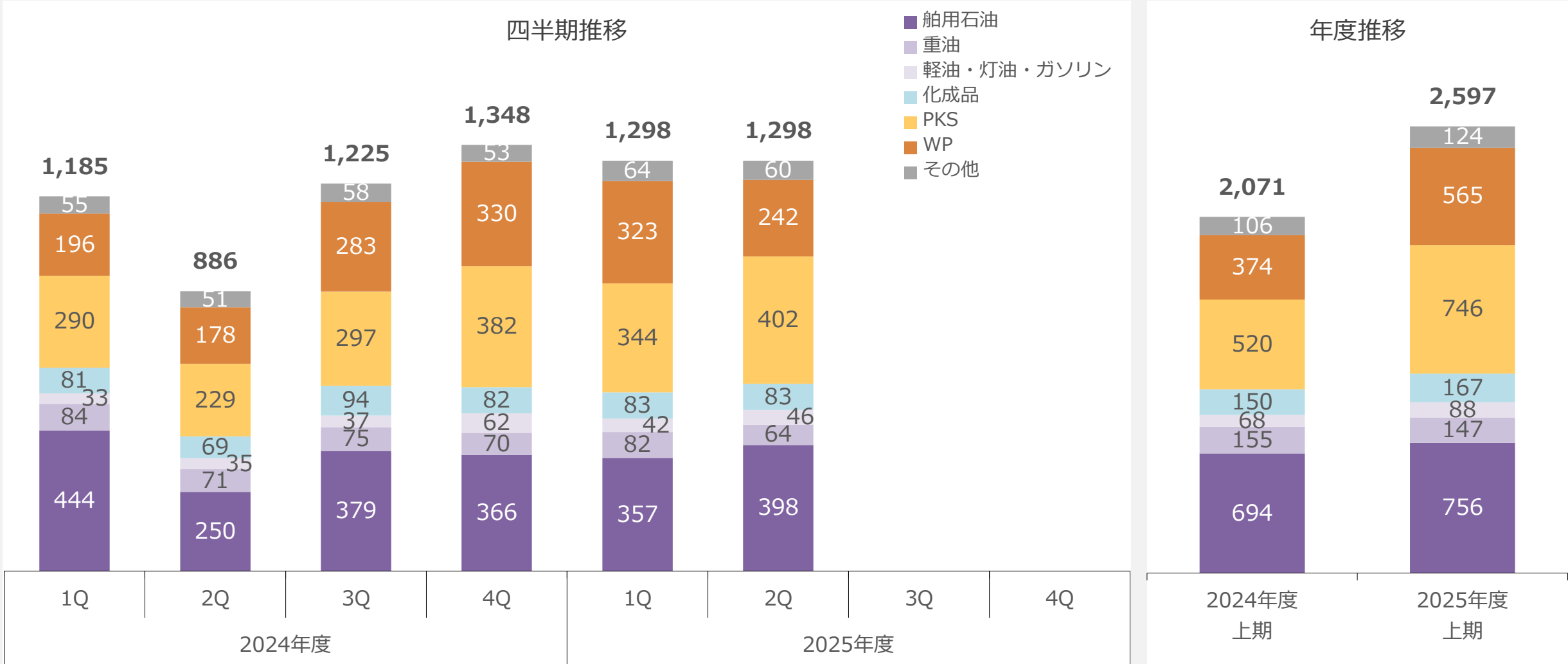


- ウッドペレットやPKS（パーム椰子殻）の販売が堅調に推移したことにより増収
- 前年同期は期末の一過性によるデリバティブ評価益の影響が大きかったこともあり減益

2024年度						2025年度					増減 (率)
(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	936	909	998	1,073	3,916	936	923	－	－	1,859	+14 (+1%)
経常利益	14	36	24	27	104	24	14	－	－	39	▲11 (▲23%)
単体	19	26	26	18	90	26	13	－	－	40	▲5 (▲12%)
国内連結子会社	▲3	9	▲1	8	14	3	0	－	－	3	▲2 (▲40%)
海外連結子会社	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－ (－)
持分法投資損益	0	0	0	▲0	0	0	0	－	－	0	+0 (+7%)
調整	▲1	▲0	▲0	0	▲1	▲5	▲0	－	－	▲5	▲3 (－)

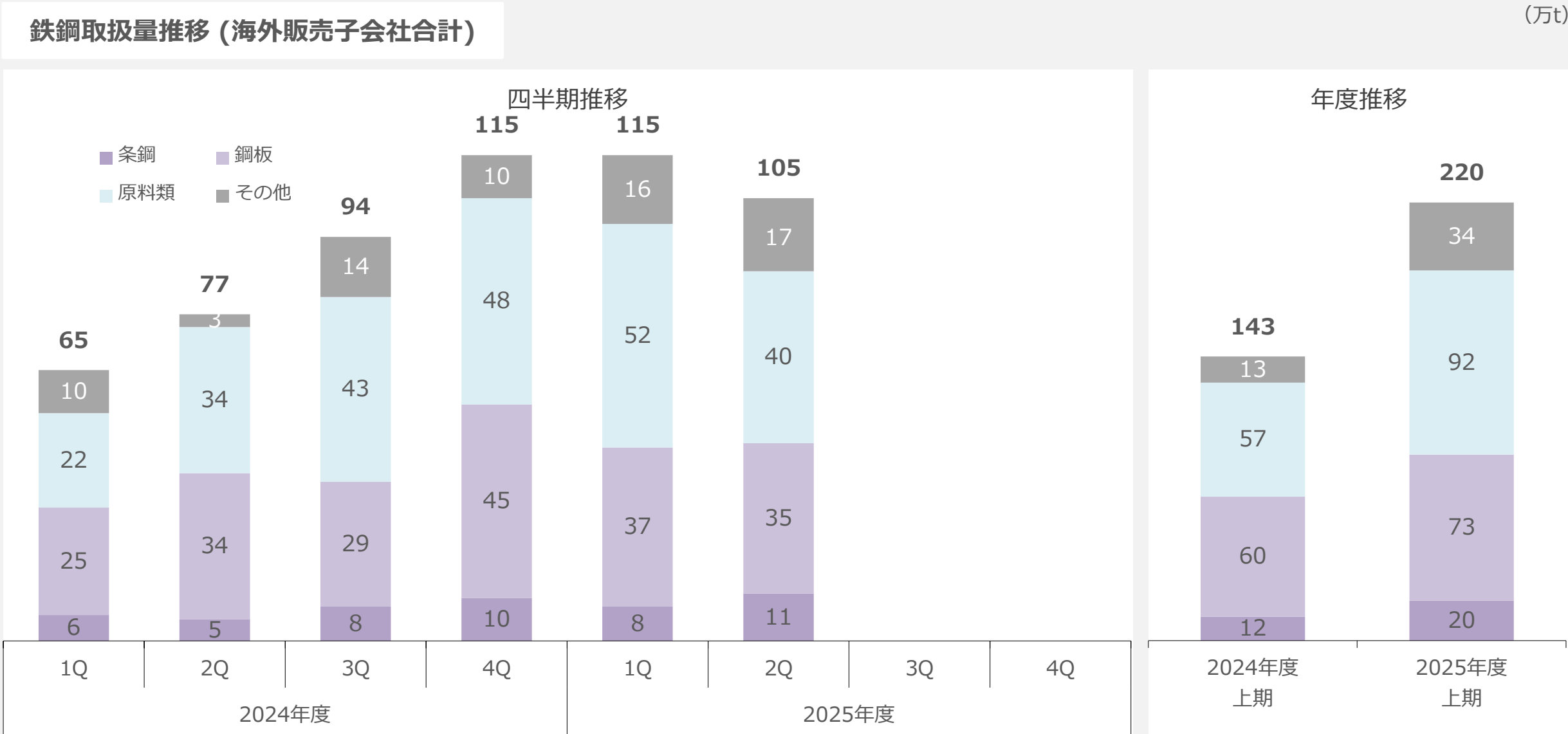
取扱量推移 (当社単体)

(千t)



- 東南アジアでスクラップ取引が拡大したことや、新規連結子会社の業績などが収益を押し上げ
- 主に鉄鋼製品の採算が悪化したことなどで減益

2024年度							2025年度					増減				
(億円)			1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	(率)			
売	上	高	975	1,084	1,162	1,191	4,413	1,184	1,269	－	－	2,453	+394 (+19%)			
経	常	利	益	16	20	25	20	82	18	15	－	－	33	▲3 (▲10%)		
	A	S	E	A	N	11	13	17	14	56	12	9	－	－	21	▲2 (▲12%)
	東	ア	ジ	ア		1	1	2	3	8	1	1	－	－	2	+0 (+17%)
	北				米	3	4	5	4	17	3	3	－	－	6	▲1 (▲21%)
	そ		の		他	0	1	0	▲1	0	1	0	－	－	1	▲0 (▲0%)
	調				整	0	▲0	▲0	▲0	▲0	0	0	－	－	0	+0 (－)



- 住宅資材：主に欧州材市況が前年同期より低調に推移したことなどが収益・利益を押し下げ
- 機械：産業機械分野での完工物件が前年同期比で増加したことなどが収益・利益を押し上げ

2024年度						2025年度					増減
(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	(率)
売上高	320	333	342	340	1,337	312	318	－	－	631	▲22 (▲3%)
経常利益	9	1	4	8	24	6	4	－	－	10	▲0 (▲2%)
単体	8	▲1	3	5	16	6	2	－	－	9	+2 (+29%)
国内連結子会社	1	2	2	4	10	2	3	－	－	5	+1 (+29%)
海外連結子会社	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－ (－)
持分法投資損益	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－ (－)
調整	－	▲0	▲1	▲1	▲2	▲2	▲1	－	－	▲3	▲3 (－)

事業セグメント別の実力利益

(億円)

セグメント	売上高	経常利益	評価・一過性項目				実力 経常利益	2025年度 業績予想 通期進捗率
			在庫評価	デリバティブ 評価	為替評価	一過性要因		
鉄鋼	5,406	169	0	－	－	▲0	169	58%
プライマリーメタル	1,090	▲12	0	0	－	－	▲12	－
リサイクルメタル	1,274	2	0	▲6	－	－	9	27%
食品	715	18	▲1	－	－	－	19	66%
エネルギー・生活資材	1,859	39	▲0	▲1	－	－	41	34%
海外販売子会社	2,453	33	0	▲1	－	1	33	44%
その他	631	10	▲0	－	－	－	11	46%
調整	▲640	▲23	－	－	▲0	－	▲22	－
合計	12,791	238	▲1	▲9	▲0	1	248	45%

Run Up to HANWA 2030

A thick green horizontal arrow pointing to the right, spanning the width of the slide.

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。